

ビッグデータ・人工知能・メタ認知

仲林 清

教育システム情報学会 会長, 千葉工業大学 情報科学部 教授

昨今、ビッグデータや人工知能がマスコミでも盛んに取り上げられるようになっている。ビッグデータの技術的特徴はデータの因果を考えず、有用な相関関係に着目することにある。一方、人間は概念を用いてものごとの因果を考える。また、そのような思考過程を自身でコントロールするメタ認知の能力を持っていて、21世紀型スキル育成の重要なポイントになっている。人工知能の機械学習も大量のデータを分類する能力を学習するが、近年のディープラーニングの技術により、人間のような概念獲得が行える可能性が出てきた。また、過去に知識獲得がネックとなって実用化に至らなかった各種の人工知能応用技術が再び復活する可能性も示唆されている。本講演では、ビッグデータ、人工知能の技術の要点を人間の思考・学習と対比し、それらがどのように学習支援の役に立つか、また、そのような研究を行う際の可能性と問題点を議論するきっかけを提供したい。

講演者略歴

1982年 東京工業大学 理工学研究科 応用物理学専攻 修了。

2006年 早稲田大学 大学院 人間科学研究科 博士課程 修了。

NTT 情報通信研究所、NTT レゾナント、放送大学を経て、現職。NPO 法人日本イーラーニングコンソシアム副会長。専門は、教育工学、技術標準化。